

種智院大學 同窓會報

第13号

平成4年11月10日

京都市南区壬生通八条下東寺町545
種智院大學同窓會

.....平成4年度總會開催.....〈池田瑩輝會長再選〉.....

平成4年度總會は、7月2日(木)午後1時より、本學講堂にて開催。今年度の總會は、昭和63年度總會で選出された役員の変更期にあたる。

当日は、午前中に役員候補推薦委員会、常任幹事會が行われ、總會にむけて十分な準備がすすめられてきた。

總會は、會長池田瑩輝殿下の開會挨拶に始まり、來賓として、仏教學部長の頼富本宏教授が挨拶に立った。學長今井圓明殿下は所用のため、常任幹事會開催に先立って挨拶され、新學長就任の報告と母校の現況などを報告。また、頼富教授からも、同窓會への御礼と總會開催をお祝いする旨の挨拶が述べられた。

つづいて、議事に入り、座長に手嶋千俊副會長を選出。平成3年度事業報告、決算案について事務局から報告。あわせて、市橋眞明監査より、決算が正しく行われている旨報告があり、これを了承。つづいて、平成4年度事業計画、予算案についての報告があり、これも承認。(決算・予算については資料参照)。

次に、役員改選に伴う会則の一部変更について提案がなされた。これは、常任幹事と幹事の区分が、従来より会則上不明瞭であったこと、昭和63年度總會で多くの方に常任幹事をお願いしたことなどで、出発点となった常任幹事の役割が曖昧になったことから、常任幹事を廃し、幹事に一本化して、会の運営業務を協議していくこととするものである。

これにたいし、支部規約との関連から質問があり、支部規約は概ね本部の会則にならって作成されており、本部会則に常任幹事の名称がなくなると、支部規約はどうすべきかとの疑問が提起された。この件について、支部の自主的な判断で、運営上、最も相応しい役員をおくことができるので、このたびの本部会則は必ずしも支部の規約の変更を求めるものではないことが確認された。

次に、役員改選案が、役員候補推薦委員会の森見章委員より提案された。森委員からは、三回に及ぶ同委員会の選考経過、常任幹事會での協議等について報告があった。とくに、會長選考については、一致した意見として、現會長の池田瑩輝殿下を推挙することになったこと。これにたいし、池田殿下から辞退したい旨のご返答であったが、再度強く再選をお願いしたことが報告された。この役員改選案について、満場一致で承認。平成8年3月までの任期を、お願いすることとなった。(新役員については、次頁に掲載)

最後に、その他の案件として、増改築事務局の都筑師より、勧募状況の説明があった。概ね目標に到達しているものの、入金状況は80%台であり、免税措置が平成5年3月で切れることを考え、未納の方々及早急に納金されることを、同窓會總會ご出席の皆様方からもご連絡をお願いしたい旨、報告があった。

以上にて、總會の審議を終了、記念撮影がおこなわれた。引きつづいて、記念講演となった。

記念講演に先立って、再選された池田瑩輝會長より、これまでの任期中に、多くの方々のご支援によってここまで来られたことへの御礼と、今後とも引きつづいてご協力賜り、同窓會の発展に寄与していきたい旨挨拶され、また旧役員の皆様方への謝礼と、新役員の方々へのいっそうのご尽力をお願いしたいことが述べられ、会場から新しい出発を祝って拍手がおこった。

さて、記念講演については、池田會長から講師の本會々員で高野山真言宗宗會議長寺河俊禎先生が紹介された。池田會長と寺河先生は、日本宗教平和慰靈使節団(団長・池田瑩輝殿下)として6月にロシアに向かわれ、ロシア正教をはじめ、ロシアの宗教界との交流をもち、日本仏教の講話もされ、また、日本人墓地への慰靈もされてこられた。

この視察をふまえて、寺河先生から、「ロシアの宗教事情」との講題で記念講演が行われた。昨年8月のソ連邦解体以後、ロシア宗教界は、新たな活気につつまれる一方、長い共産党政権下からの脱皮をどう進めていくか、さまざまな困難な課題が山積し、その上で、民族問題・生活物資の問題など、想像を絶する状況におかれていることを、つぶさに報告され、そうした状態のなかで、宗教者との交流の深まり、またロシアの人々の生活ぶりを、手にとるように述べて頂いたことであった。

講演終了後、ホテル京阪（京都駅八条口）に会場を移して懇親会を開催。懇親会では総会に所用にて出席できなかった今井圓明学長、田中純應洛南高校長も出席、これまでにない盛り上がりを見せ、各年度ごとに同窓生が壇上にのぼり、なつかしい思い出を、時のたつのを忘れて語り合ったことであった。そして来年の再会を約して、散会となった。

出席者（順不同・敬称略）

蔵本 亮辯	入江 宥憲	井上 紀生
東野 学明	安室 舜海	前島 義雄
手嶋 千俊	瀧川 隆勝	田中 実道
川村 俊朝	江坂 宗純	澤 実英
村岡 秀全	衣笠 丹章	寺河 俊禎
森 見章	内藤 信道	法本 弘文
篠畑 俊成	手塚 利貞	河辺 延應
今井 圓明	吉田 裕信	東田 教範
田中 純應	山田 達圓	生駒 研性
市橋 眞明	荒谷 恵乗	前田 和連
岩橋 政寛	加藤 亮匡	池田 瑩輝
足立 有教	加門 得勇	遠山 本良
英 真恵	北村 議臣	福嶋 尊光
手塚 節	棟広 照文	井上 亮淳
蛎田 真慧	北村 太道	土屋 博秀
田畑 祐弘	有井 良随	嶋 裕海
都筑 大乘	国定 道晃	玉山 順彦
北尾 隆心	宮崎 幹大	松山 融雄
渡辺 妙幸		

[大学]

頼富 本宏	宮城洋一郎	児玉 義隆
-------	-------	-------



平成4年度種智院大学同窓会総会（於 種智院大学講堂）

種智院大学同窓会新役員

（順不同・敬称略）

会長	池田 瑩輝	城光寺教進	幹事	新出 秀計	川崎 龍性	生駒 研性
副会長	手嶋 千俊	井上 紀生	[北海道]	小笹 憲雅	田中 純應	[西中国] 東田 教範
	淵川 利昭	坂本 光聡	[神奈川]	中館 仙雅	石坪 昭真	江坂 宗純
	喜多村 龍鳳	今井 圓明	[関東]	番場 孝雅	田中 実道	福島 尊光
	森 見章	常遍 哲雄	[東海]	宇賀 哲也	法本 弘文	鈴木 宏教
	吉田 裕信	民岡 秀雄	[北陸]	瀧川 隆勝	土屋 博秀	[徳島] 嶋田 禅峰
顧問	石堂 恵俊	岩城 秀雄	[滋賀]	井出 宝泉	水谷 修夫	[香川] 沖田 定信
	松本 隆寛	高藤 圓亮	[滋賀]	峰 覚海	足立 有教	[香川] 高吉 清順
	阿部 本宣	圓 覚亮	[京都]	岩橋 政寛	加門 得勇	[香川] 菅 智潤
	小林 隆仁	佐藤 秀明	[京都]	岩橋 政寛	祝 宏友	[愛媛] 神野 龍幸
	小松 道圓	安井 玄純	[京都]	篠畑 俊成	密門 光範	[九州] 北脇 良哲
					松村 実秀	
					田畑 祐弘	查 川村 俊朝
					松本 安正	市橋 眞明

学長就任ご挨拶

種智院大学長

今 井 圓 明



めっきり涼しくなり、朝晩の風が金色の秋の到来を感じさせる候となりました。

同窓生の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本年4月1日に、不肖凶らずも真言宗京都学園理事・評議員会のご推挙により学長の要職に就くことになりました。

昭和24年3月、種智院大学の前身京都専門学校を卒業した私は、誠に感慨無量でありまして、身に余る光栄と存じております。就任半年を経過して、しみじみとその責任の重且つ大なることを深く痛感しているところであります。

私は、大学経営については理事を5年間経験したのみでありますし、浅学非才その器でないことはよく承知しておりますが、学長に就任いたしましたからには、大学の管理運営に一身を挺してご厚志に応える覚悟であります。

昨年、新学舎が経営本山を始めご縁の有るご寺院及び同窓会等のご尽力により完成し、現在は在校生も開校以来最高の約350人となり、各教科の先生方もそれぞれ授業に工夫をこらし、学生も勉学に励み、いま学内は活気に満ち溢れています。

然し乍らマスクミが伝えるように、大学冬の時代が刻々と近づいており、18歳人口の激減は、平成11年には現在の半分になると云われております。

ただ漫然と月日を送っていると、開校以来昭和年代中の如く1学年40人の定員割れのようなこと

になり、経営は危機的な状況に陥り、ふたたび従前の如く沈滞ムードになるのではないかと思います。

目を他の仏教関係大学向けますと、その発展振りは次の表のとおりであり、最低が種智院大学の2倍で、最大は花園大学の13倍であります。

更にそれらの大学が生き残りにかける熱意は大変なものでありまして、それをただ茫然と眺めているだけでは我が種智院大学は自然衰弱し、廃校の憂き目をみることになりかねません。

平成3年7月、文部省は大学設置基準の大幅改正を行いました。従って「今」大学教育が根本的に問いなおされている時期でありまして、これを千載一遇のチャンスとして、学内は勿論、学外の各方面のご指導・ご助言を仰ぐと共に、経営本山と大学が一体となって、大学の健全な発展充実に努めたいと考えております。

どうか同窓生の皆様、今一度母校愛に燃えていただき、宗祖弘法大師の建学の精神が高らかに宣揚された大学になるよう、温かいご指導・ご鞭撻をお願いしてご挨拶といたします。

仏教系大学の学部学科及び定員の推移

区分	当初(昭和24年2月21日)		現在(平成4年度)		定員の伸び率 (倍)
	学部・学科数	定員 (1学年)	学部・学科数	定員 (1学年)	
大正大学	2学部5学科	200人	2学部6学科	770人	3.85
高野山大学	1学部6学科	120人	1学部4学科	280人	2.33
大谷大学	1学部3学科	250人	1学部6学科	780人	3.12
佛教大学	1学部1学科	320人	3学部10学科	1,240人	3.88
花園大学	1学部1学科	50人	2学部4学科	650人	13.00
龍谷大学	1学部4学科	320人	6学部16学科	3,385人	10.58
種智院大学	1学部1学科	40人	1学部1学科	80人	2.00

理事長・学長・校長 歓送迎会

真言宗京都学園は、今年4月に、前理事長鷲尾隆輝猯下に代り、新理事長に松村祐澄猯下を前種智院大学学長麻生文雄猯下に代り、新学長に今井圓明猯下を、洛南高等学校・同付属中学校長代理横山繁久氏に代り、新校長に田中純應師をそれぞれ選任。これにともない、7月24日、前職の方々へのご苦勞を謝し、そのご功績を讃え、新任の方々にはご就任を祝し、今後のご活躍を期すべく、歓送迎の宴が開催され、学園・宗門関係約350人が出席された。

この会は、新旧理事長・学長・校長の方々の入場で始まり、発起人を代表して総本山普通寺法主蓮生善隆猯下が挨拶され、新旧理事長からそれぞれ挨拶が述べられて式が進行。松村理事長より、



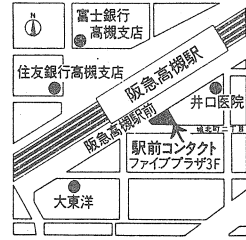
鷲尾・麻生両猯下へ賞状、記念品が授与された。つづいて来賓の方々の祝辞ののち、洛南高等学校吹奏楽部の演奏があり、大本山大覚寺門跡井上紀生猯下の乾杯により宴がスタートした。祝宴においては、同窓会長・池田瑩輝猯下も祝辞を述べられ、先般の大学校舎増改築にさいしての苦勞話も交じえながら、前任の方々への謝意を表され、また母校の発展を願うべく、新任の方々へのご活躍をお願いされた。

最後に、発起人を代表して大覚寺岡田高功事務局長より謝辞が述べられ閉会となった。

なお、司会には同窓生である吉田大治氏があたられた。

コンタクトレンズ専門相談室 阪急 高槻

駅前コンタクト



〒569 高槻市城北町2-4-1ファイブプラザ3F ☎(0726)75-8141

- 営業時間/AM11:00~PM7:00
- 定休日/水曜日・祝祭日(日曜日営業)

新しく特別推薦

入試制度を設けます

募集人員 二十名

受験資格

仏教、とくに密教に積極的な関心を持ち、本学への入学を強く希望し、また入学後の勉学に明確な意志を持つ、高校卒、評定平均値三・〇以上の現役、一浪。専願に限る。得度証明書または在学中の得度誓約書の提出が必要です。

願書べ切 平成四年十一月二十一日

試験科目 基礎学力テスト、小論文

試験日 平成四年十一月三十日(月)

合格発表 平成四年十二月四日(金)

種智院大学

〒601 京都市南区壬生通八条下ル東寺町545

電話(〇七五) 六八一―六五二三

問い合わせ 入試要項請求は「入試係」まで

《〈〈支部だより〉〉》

【大阪支部】

4月25日(土)午後5時30分より、平成4年度の総会を開催。場所は、千日前・南海飯店であった。総会には11名参加。支部長の田中実道師より開会の挨拶があり、大学から参加の宮城洋一郎氏より、大学の現況報告があった。つづいて、事務局の土屋博秀師から平成3年度の活動報告、また会計担当の玉山順彦師より平成3年度の会計報告と、平成4年度の予算案が提出され、それぞれ承認。引きつづき懇親会に入り、勧募活動についての苦労から、在学中の思い出へと、世代をこえて盛り上がり、散会となった。なお、事務局より5月25日付で支部会員に総会の報告書と名簿が送付された。

出席者(順不同・敬称略)

田中 実道	西端 良諦	蓮沼 雅春
見城 芳行	藤崎 信幸	土屋 博秀
玉山 順彦	上田 豊宣	西田 義範
武宮 祐二	宮城洋一郎	

【関東神奈川支部】

5月19日(火)午前11時より、鎌倉市内にて開催。今回は、前回に大学・井上亮淳教授の助言を得て、神奈川県だけではなく、関東各地の同窓生にも参加をよびかけて開催するはこびとなった。総会は、中館仙雅支部長の挨拶をうけて、これまでの会務、会計等の報告が、事務を担当された中館達哉師よりあり、それらを了承したのち、懇親会に入った。

懇親会では、それぞれに京専・大学時代の思い出が、世代をこえて語り合ったことであった。こののち、今回、会場設定にご尽力頂いた須方智證師の案内で、称明寺本坊・庭園も見学させて頂き、有意義な一日であった。

出席者(順不同・敬称略)

中館 仙雅	須方 智證	伊藤 利雄
内藤 信道	峯 孝雅	北村 公秀
松下 俊昭	八坂 信司	中館 達哉
中館真理子	峯 裕雅	

【京都支部】

5月19日および7月2日の2回にわたり、支部役員会、総会を開催。いずれも大学会議室にて慎重に審議を重ねた。今回は、とくに、勧募活動のなかで、未記帳、未納の方々へのお願いを強化することが確認され、それぞれの分担のもとで、く

り返しお願いしていくことになった。また、今年度は役員改選期にあたり、この件についても、審議を重ねたことであった。これにより、別記のとおりの方々に役員をお願いすることになった。

出席者(順不同・敬称略)

岩橋 政寛	篠畑 俊成	川崎 龍性
石坪 昭真	市橋 眞明	宝山 真海
都筑 大乘		

京都支部新役員

支部長		川崎 龍性
副支部長	北部	石坪 昭真
	中部	嶋 裕海
	南部	市橋 眞明
幹事	丹後	秦 祐智
	中丹	篠畑 俊成
	南丹	都筑 大乘
	北、上、左	松田 亮如
	右、西京	宇喜多隆教
	下、南	宝山 真海
	東山、中京	福島 仁良
	伏見、山科	壁瀬 有雅
	府南部	上原 雅明
常任幹事		篠畑 俊成
		宝山 真海
		都筑 大乘
監事		川村 俊朝
		本田 隆保

【西中国支部】

6月26日(金)午後4時より福山グランドホテルにて総会を開催。総会に先立ち午後3時から役員会が持たれた。今回の支部総会開催にご尽力頂いた本部監査の吉田裕信師より開会挨拶があり、今年1月遷化された蛸田弘教支部長の後任について討議した。午後4時からの総会では、遷化された蛸田支部長のご息女である蛸田真光師より、これまでの御礼が述べられた。つづいて後任支部長選出に入り、新支部長に副支部長の東田教範師を、また副支部長には福島尊光師をそれぞれ選出した。なお、遷化された支部監査の山本秀照師の後任については、次の総会で決定することを確認。

大学から出席した吉田元氏より、大学の現況報告があり、また勧募状況の報告をうけ、完納されていない方々の完納を今年度中においてお願いしたいことが強調された。また勧募担当理事も務められた吉田裕信師から、勧募にご協力頂いたことへの御

礼も述べられた。新支部長となった東田師から、今般東寺真言宗宗会議長就任のことが報告され、今井新学長、田中純應新校長ともども、同期生として奮闘努力していくことが力強く述べられた。

午後5時からの懇親会には、今井圓明学長も出席。母校の現況と将来にむけ、熱のこもった議論がつづき、継続して支部総会を開催することを確認し、散会。

出席者 (順不同・敬称略)

多田 隆信	前島 義雄	片山 宥雄
筒井 清道	江坂 宗純	吉田 裕信
東田 教範	豊田 修賢	福嶋 尊光
藤原 豊善	鈴木 宏教	蛸田 真光
[大学]	今井 圓明	吉田 元



西中国支部同窓会

【兵庫支部】

7月31日(金)午後4時より、ホテル全但で開催。水谷修夫支部長が開会挨拶され、大学より頼富本宏仏教学部長から、大学の現況報告があった。また今井圓明学長の祝電が披露された。祝宏友師より会計報告があり、これを了承。懇親会に入り、校舎完成後の母校の将来計画、後輩諸君の就職問題などにも議論が及び、頼富学部長から入試要項の説明もあって、母校への思いが熱く語りがれた。明年の開催を約して散会となった。

出席者 (順不同・敬称略)

水谷 修夫	手塚 利貞	足立 有教
西谷 智章	祝 宏友	
[大学]	頼富 本宏	宮城洋一郎

【九州支部】

8月24日(月)午前11時より、佐賀市「ホテル朝岡」にて開催。支部長・稲佐俊明師より開会挨拶があり、また大学から吉田元氏より大学の現況報告があった。引きつづき総会の議題に入り、支部役員の任期が満了となったので、役員交代につ

いての議事があり、今後継続して討議することとなった。また会計の森光栄師より会計報告があり、これを了承。つづいて懇親会に入り、なごやかなうちに散会。

出席者 (順不同・敬称略)

稲佐 俊明	喜多村龍鳳	杉岳 覚英
北脇 良哲	森 光栄	
[大学]	吉田 元	

■計報

- ◎山地善真師(昭和10年・同窓会参与)平成4年7月27日逝去。萬福寺住職、元総本山善通寺寺務長。本葬は7月29日萬福寺にて善通寺法主蓮生善隆猊下の導師で盛大に行われた。
- ◎井上栄済師(昭和15年)平成4年8月10日逝去。龍福寺住職、元高野山真言宗宗会議長。同窓会幹事。
- ◎養学智海師(昭和16年)平成4年9月10日逝去。
- ◎吉川律城師(昭和11年・真言宗東寺派管長)平成4年10月23日逝去。

会 員 消 息 □□□□□□□□

東田教範師(昭和24年)5月19日、東寺真言宗宗議会議長に就任。

釈 泉有師(昭和32年)同財務部長に就任。

川崎真雅師(昭和41年)同教務部長に就任。

市橋朋幸氏(昭和59年・泉涌寺勤務)10月4日、泉涌寺事務長川村俊朝師ご夫妻のご媒酌で結婚。

本山協力委員 (敬称略・受付順)

大本山 清澄寺	有井良随(昭和46年)
	国定道晃(昭和50年)
総本山 善通寺	大林教善(昭和47年)
	菅 智潤(昭和47年)
大本山 中山寺	西田義範(昭和62年)
	養学玉恵(平成2年)
総本山 醍醐寺	田中祐弘(昭和59年)
大本山 須磨寺	富永龍心(昭和50年)
	田中鐘暁(昭和58年)
	山下高仙(昭和62年)
総本山 仁和寺	川井宏雄(昭和35年)
総本山 智積院	北尾隆心(昭和56年)
総本山 泉涌寺	市橋朋幸(昭和59年)
	渡辺恭章(昭和63年)

種智院大学同窓会平成3年度決算

〔収入の部〕

平成4年3月31日現在 (単位:円)

平成3年度予算			平成3年度決算		
科目	金額	備考	金額	備考	
会費	1,000,000	終身会費 @20,000×40 年会費 @2,000×100	858,000	終身会費@30,000×1、@20,000×30、 年会費@3,000×2、2,000×111	
懇親会費	500,000	@10,000×50	440,000	10,000×44	
受取利息配当金	160,000	定期預金 (110,000) 郵便貯金・普通預金 (50,000)	347,466	普通預金 (10,033円) 郵便貯金 (15,915円) 定期預金 (321,518円)	
雑収入金	370,000	名簿収入金、広告代 総会・懇親会等御祝	135,000	名簿売上1件、広告代5件、御祝金3件、 名刺交換2件、写真代28件	
前年度より繰越	6,077,437		6,077,437		
計	8,107,437		7,857,903		

〔支出の部〕

科目	金額	備考	金額	備考	
人件費	50,000	発送アルバイト分	50,140	受付アルバイト4名分 会報発送アルバイト5名分	
総会諸費	130,000	総会諸費用 (80,000) 講演料 (50,000)	107,500	総会諸費用 (47,500円) 講演料 (60,000円)	
懇親会費	500,000	@10,000×50	582,329	懇親会諸費用等	
消耗品費	50,000	事務用品、コピー代	6,325	事務用品等	
印刷製本費	370,000	会報3回分、ハガキ等	489,250	会報、ハガキ、封筒等	
通信費	200,000	会報発送費 案内状送付切手代	218,514	会員宛各案内状送付切手代金等	
会議費	200,000	常任幹事会等	262,140	常任幹事会等	
慶弔費	50,000		45,750	役員、旧役員の香典等	
旅費交通費	50,000		45,320	交通旅費	
事業費	1,000,000	卒業祝賀会補助金・記念品代 (200,000) 竣工記念事業積立金(800,000)	1,055,250	卒業祝賀謝恩会補助金、記念品代等 (55,250円) 竣工記念事業 (1,000,000円)	
援助費	270,000	支部活動援助金	0	14支部活動援助金 (本年度未執行の 為、平成4年度に一括支払)	
雑費	70,000		21,300	郵便振替払出手数料、金銭信託解約 手数料、支部援助金手数料	
次年度へ繰越	5,167,437		4,974,085		
計	8,107,437		7,857,903		

種智院大学同窓会平成4年度予算

〔収入の部〕

(単位:円)

科目	金額	備考
会費	800,000	終身会費 @20,000×28 年会費 @2,000×120
懇親会費	300,000	@10,000×30
受取利息配当金	350,000	定期預金 (300,000円) 郵便貯金・普通預金 (50,000円)
雑収入金	220,000	広告代、総会・懇親会等 御祝
前年度より繰越	4,974,085	
計	6,644,085	

〔支出の部〕

人件費	50,000	発送アルバイト分
-----	--------	----------

総会諸費	120,000	総会諸費用 (70,000円) 講演料 (50,000円)
懇親会費	300,000	@10,000×30
消耗品費	5,000	事務用品、コピー代
印刷製本費	300,000	会報2回分、ハガキ等
通信費	175,000	会報発送費 案内状送付切手代
会議費	120,000	幹事会等
慶弔費	50,000	
旅費交通費	50,000	
事業費	200,000	卒業祝賀会補助金・記念 品代
援助費	540,000	支部活動援助金 (平成3 ・4年度) 270,000×2
雑費	30,000	
次年度へ繰越	4,704,085	
計	6,644,085	

大覺寺派宿老大僧上定額位
嵯峨御流華道総司所最高顧問
勲五等瑞宝章

月輪寺

土井格明

趣味 俳句・俳画・いけ花

〒673-04 兵庫県三木市本町二丁目十七・十四
電話(〇七九四八)二一〇七七九

高野山真言宗 満福寺

本山布教師 篠畑俊成

〒632-03 京都府綾部市西坂町官床六五
電話(〇七七三)四九一一〇三〇

東寺真言宗宗議會議長
東寺真言宗別格本山法興寺住職

東田教範

(自坊)

〒755 山口県宇部市新天町一丁目二番十八号
電話(〇八三六)二一一二八八〇

元正天皇勅願寺
開祖 泰澄大師
西国第十二番靈場

ぼけ封じ近畿十樂觀音靈場第四番

岩間山 正法寺

(通称 岩間寺)

山主 田居龍空

〒520 大津市石山内畑町 82

☎ (0775) 34-2412